

ボランティアで

令和元年6月2日

# 第33回難病患者総合相談会に参加しました

～授業だけでは学ぶことができないたくさんの学びがありました～

私は頭痛専門の医師担当でした。医師に偏頭痛についてとても詳しく教えて頂き、授業で習ったことがたくさん出来て、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

私はエレベーター前の誘導を担当させて頂きました。こども病院の医師にカテーテル治療では、どのようにすれば患者さんの負担にならないように治療ができるのか、回復することができるかなど普段聞けない貴重なお話を伺いました。どんな時でも患者さんのことをよく考えて治療や援助を行う大切さを学びました。今回の体験を今度の勉強にかかしていきます。

私は一日子どものお世話をしていました。子どもは色々なものに興味を持ち、本を読んでいたと思ったら、次の瞬間には走っていたりなどとても活発であり体力の違いを感じました。



内分泌内科の診療の補助につかせて頂きました。橋本病の患者さんのお話を聞かせて頂き、女性の10人に1人がなっていると聞き、私たちにもとても身近な病気であると感じました。病気と闘う患者さんの不安な気持ちや悩みを聞き、看護師として何ができるかを改めて考えることが出来ました。今回の体験を今後に生かしていきたいです。

難病には様々な病気があるのだと初めて知りました。こども病院の医師によるカテーテル治療の講演会に参加し、貴重なお話を聞いて良かったです。またこのボランティアに参加したいです。

心臓病の子どものカテーテル治療について医師の講演を聞きました。まだ習っていない内容で難しかったです。新しく知識を増やすことができ、とても良い経験ができました。

受付の仕事をお手伝いさせて頂きました。多くの方が相談に足を運ばれていて、長い時間話を聞いて貰ったり、言いづらいことも相談されている様子でした。このような場はなくてはならない大切な場だと感じました。